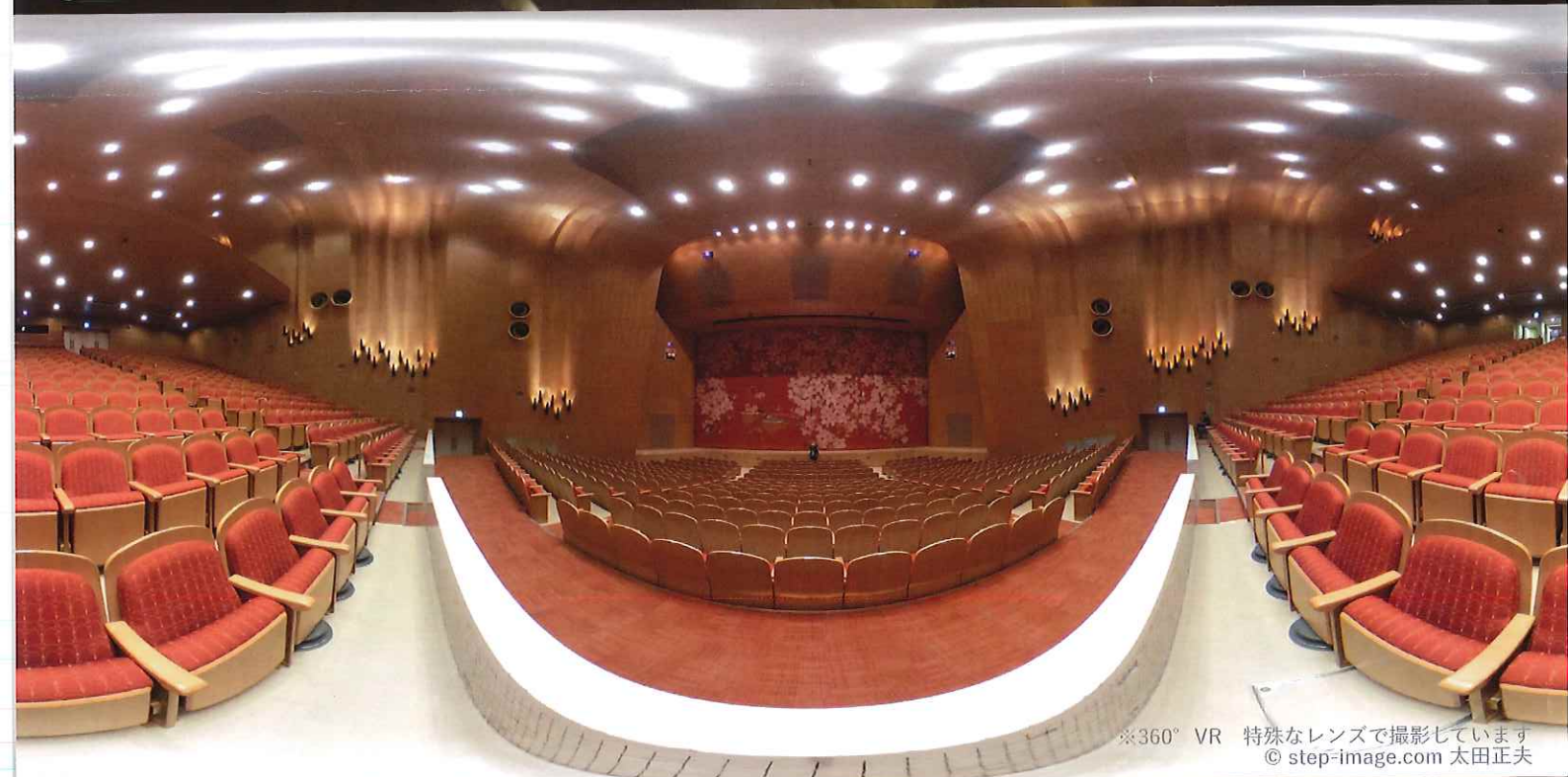


前川建築のホールとその響きを探る

前川國男が求めた音楽とホール・劇場への熱い思いに触れ、
コンサートホール・埼玉会館を彩発見してみませんか。



※360° VR 特殊なレンズで撮影しています
© step-image.com 太田正夫

入場無料 事前申し込み

日時：4月29日(月・祝)

(開場13:00) 開講13:30~16:00

場所：埼玉会館大ホール

お話し：橋本 功 (前川建築設計事務所長)

ゲスト演奏：塚越慎子 (マリンバ奏者)



前川建築のホールとその響きを探る

お話し：橋本功（はしもと いさお：（株）前川建築設計事務所 代表取締役所長）

1970年に日本大学理工学部建築学科を卒業し、（株）前川建築設計事務所に入所。2000年に代表取締役となり、現職に就任。埼玉会館ほか全国の前川建築の改修に携わる。前川國男と実際に仕事をしてきた中で師の建築思想や考えを直に知る、今や数少ないひとり。

ゲスト演奏：塚越慎子（つかごし のりこ：マリンバ奏者）

パリ国際マリンバコンクール第1位受賞をはじめ、ベルギー国際マリンバコンクール、世界マリンバコンクールなど国内外のコンクールにて数々の賞を受賞して、現在最も注目を集めるマリンバ奏者の一人。国内外で活発な演奏活動を行っており、2009年には世界最大の打楽器フェスティバルであるPASIC（国際打楽器協会インターナショナルコンヴェンション）においてソリストとして出演した。

国立音楽大学を首席で卒業後、アメリカ・ノーステキサス州立大学で研鑽を積む。現在、国立音楽大学、洗足学園大学で非常勤講師として後進の指導にも力を注いでいる。

CDはこれまでに3枚リリースしており、デビューCD「DEAR MARIMBA」は、「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれた。2012年、第22回出光音楽賞受賞。



第一部：「前川建築のホールとその響きを探る」（橋本功）

壁面すべてが木で作られ、その上質な響きを世界に知らしめた神奈川県立音楽堂。本格的なオペラ劇場として設計され、海外の音楽家からもクラシック音楽の殿堂として高い評価を受ける東京文化会館。これらの設計者である前川國男と音楽の関わりとは。そして埼玉会館の響きはどのように生まれたのか。

第二部：響きの検証とゲスト演奏（橋本功・塚越慎子）

埼玉会館大ホールの、他に例を見ない壁面と天井が一体化した木に抱かれるような客席空間は、音楽をどのように響かせてくれるのか。今回は素敵なマリンバ奏者、塚越慎子さんをゲストにお迎えし、舞台に備わった音響反射板の効果や、舞台上の演奏位置による音の響き方の違いを検証。その後、塚越慎子さんのマリンバで、埼玉会館のコンサートホールとしての魅力を探ります。

●申し込み方法：参加ご希望の方の人数、代表者のお名前、連絡先（電話番号あるいはメールアドレス）を明記の上、メール、FAX、電話でお申込みください。

●申し込み期間：3月4日(月)から。定員に達した時点で締め切らせていただきます。

●申し込み・問い合わせ先：「埼玉会館・彩発見」担当 小澤宛

メール：info-kaikan@saf.or.jp FAX：048-829-2477

電話：048-829-2471（休館日を除く10時～19時）

●アクセス：JR浦和駅（西口）から徒歩6分

※駐車場は台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。